

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公開番号】特開2007-112347(P2007-112347A)

【公開日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2005-307372(P2005-307372)

【国際特許分類】

B 6 0 Q 5/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 Q 5/00 6 5 0 D

B 6 0 Q 5/00 Z

B 6 0 Q 5/00 6 2 0 D

B 6 0 Q 5/00 6 3 0 B

B 6 0 Q 5/00 6 3 0 G

B 6 0 Q 5/00 6 3 0 H

B 6 0 Q 5/00 6 7 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月14日(2008.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両の各種状態を聴覚にて報知する聴覚情報提供手段と、前記聴覚情報提供手段を動作させる制御手段とを備えた車両用情報提供装置であって、

前記制御手段は、車両情報入力手段もしくは多重通信入出力手段の少なくとも一方を介して、ターンシグナルスイッチまたはハザードスイッチの操作に応じた操作入力情報と前記操作入力情報以外の他の情報とを受信し、前記操作入力情報に基づいてターンシグナル作動音または非常点滅作動音を発するように前記聴覚情報提供手段を動作させるとともに、前記他の情報に基づいて各種警報音を発するように前記聴覚情報提供手段を動作させ、前記聴覚情報提供手段または前記制御手段は、前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音と前記各種警報音とが同時に発生した場合に、前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音と前記各種警報音とを混合するミキシング手段を備えてなることを特徴とする車両用情報提供装置。

【請求項 2】

前記ミキシング手段は、フィルタによって周波数通過域特性の定められた前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音と、前記フィルタとは異なるフィルタによって周波数通過域特性の定められた前記各種警報音とを混合してなることを特徴とする請求項 1 記載の車両用情報提供装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、複数の周波数の組み合わせで前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音を生成してなることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の車両用情報提供装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、複数の音圧の組み合わせで前記ターンシグナル作動音または前記非常点

滅作動音を生成してなることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のうちいずれか 1 つに記載の車両用情報提供装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音と前記各種警報音とに予め優先度を定めておき、前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音と前記各種警報音とを混合するとき、前記優先度の低い音をミュートしてなることを特徴とする請求項 1 記載の車両用情報提供装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また本発明は、前記制御手段は、複数の音圧の組み合わせで前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音を生成してなることを特徴とする。

また本発明は、前記制御手段は、前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音と前記各種警報音とに予め優先度を定めておき、前記ターンシグナル作動音または前記非常点滅作動音と前記各種警報音とを混合するとき、前記優先度の低い音をミュートしてなることを特徴とする。